

# 文化と宗教



公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

## (i) 日本の風土と文化

### ■ 日本文化の原点

日本は農耕を中心とした社会を営んできており、自然の脅威を謙虚に受け入れ一体化する暮らしを育んできた。

☎<sup>[1]</sup> ] 「日本人の国民性は<sup>[2]</sup> ]で<sup>[3]</sup> ]である」(『風土』)

気候風土が人間の精神構造を規定すると考え、世界の文化を3つに類型化した。

モンスーン型：暑熱・湿気・暴威 / 受容的・忍従的 / 東アジア・日本

砂漠型：乾燥 / 対抗的・戦闘的 / 西アジア

牧場型：湿潤と乾燥 / 合理的・規則的 / ヨーロッパ



古代の日本人

自然界の事物や現象には霊力が備わっていると信じ、神として崇めた

=<sup>[4]</sup> ] ↳<sup>[5]</sup> ]



日本人精神の原点

神々の意にかなうためには汚い心を捨て、偽りのない心を保つことが重要！=<sup>[6]</sup> ]

・共同体を危険にさらす行い=ツミ ⇒ 呪術的な力で取り除く=<sup>[7]</sup> ]

・汚れた心がもたらすもの=ケガレ ⇒ 水で清める=<sup>[8]</sup> ]

以上のような、カミ信仰に基づく儀礼が、日本の民族宗教である**神道**を形作っていく

### ■ 日本人の生活と信仰

日本では無宗教の人が多いと言われるが、お盆や七五三など宗教的な背景をもつ行事で溢れている

・<sup>[9]</sup> ]：1年の決まった時期に行われる伝承行事 例)→

・<sup>[10]</sup> ]：人生の節目に行われる儀式 例)→

日常的な<sup>[11]</sup> ]の行事 ⇔ 非日常的な<sup>[12]</sup> ]の行事 農耕生活を営む人に季節の変化に応じて生活のリズムを与える  
特別な日で晴れ着や料理で祝う

## (ii) 宗教と文化

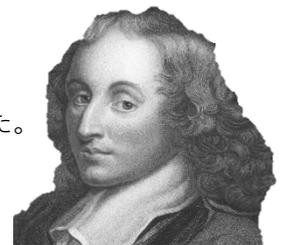
### ■ 世界の宗教

☎ **パスカル** 「無限の空間の永遠の沈黙は私を恐怖させる」(1623~62)

彼は、人間の理性だけではなぜ私がここに生きているのかを理解できず、恐怖を見出した。

その際に、超越的な存在である神や仏に希望を託し、祈りをささげたのである。

宗教は人々の心の安定や安らぎをもたらし、人々の結びつきを支えてきた。



信仰心の薄い日本でも、パワースポットが流行したり、スポーツの緊迫する場面では手を合わせて祈る観客が多い。自己を超えた絶対的な存在に救いを求める心理は、誰もが同様に持っているといえる。

★世界の三大宗教

	仏教	キリスト教	イスラム教
創始者	ゴータマ・シッダールタ(仏陀)	<sup>13</sup>	<sup>14</sup>
時期	紀元前5世紀ごろ	1世紀はじめ	7世紀はじめ
成立場所	インド東北部	ローマ帝国のパレスチナ	アラビア半島のメッカ
経典	多数の仏典	旧約聖書・新約聖書	<sup>15</sup>
信者数(2016)	5.2億人	24.5億人	17.5億人

■ 仏教の教え

- ・ [16] の法 …あらゆるものは相互に依存し合うことによって生じ、変化し続ける  
 ↳ 人々はこれに無知であるがゆえ、心に執着([17])が生じて苦しむことになる
- ・ 修行を实践し、煩惱を打ち消すことで、苦しみの連鎖から解放される(=[18])
- ・ すべての生きものに**慈悲の心**をもって接する ※慈：他者に楽しみを与える 悲：他者の苦しみを取り除く

■ キリスト教の教え

- ・ 神の愛([19])は無差別・無償の愛であるとして  
 心から神を愛すること(神への愛)、すべての人に対して無差別で無償の愛を实践すること([20])
- ・ イエスの死後、イエスを救世主(キリスト)とみなし、イエスの教えに従う宗教として誕生

■ イスラム教の教え

- ・ 全能神[21]からの啓示に基づき、預言者[22]が説いた宗教
- ・ 神の啓示をまとめた『コーラン』に示された、神への絶対的帰依や、**六信五行**の宗教的生活を義務付け  
**六信五行** → **六信**(神/天使/聖典/預言者/来世/天命) **五行**(信仰告白/礼拝/喜捨/断食/巡礼)
- ・ 宗教と社会を一体化させることを求める

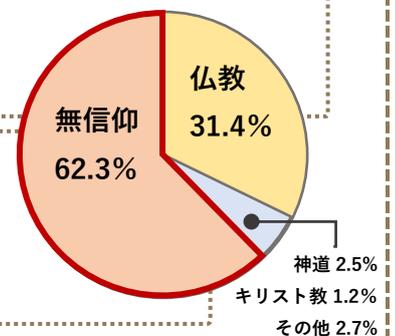
Think🗨️ 日本人はなぜ信仰心が薄いのか？

2018年の調査では、日本人が信仰している宗教は以下の通りとなっている。

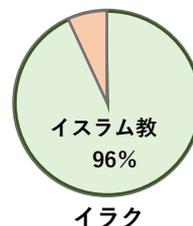
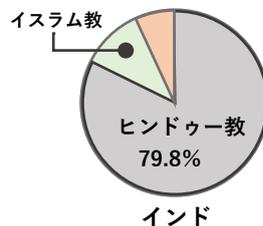
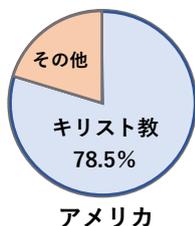
神仏に拝む頻度や宗教に癒しを求める人が減少傾向にあるが、日本人に宗教が根付かないのはなぜか？

自分の考え

他者の考え



cf.他の国の事例



## TOPIC イスラム教の生活習慣

イスラームでは、ムスリムが日常生活で行うべきことを規定しており、日本での日常生活と異なる部分もある。

- ①**食 事**：豚肉およびアルコールの摂取を禁止
- ②**礼 拝**：水を用いて体を清め、決まった時間に1日5回聖地に向かって祈る
- ③**断 食**：イスラーム暦の9月には夜明けから日の入りまで食事をとらない
- ④**露 出**：ムスリムの女性は家族以外への肌の露出を避けるため、ヒジャブという布によって髪や首を隠す

## Work 外国人観光客が日本で困った事例を調べ、私たちが気を付けるべきことを考えよう

**STEP1**  文化や宗教上の配慮、言語や観光地の対応など、どんな視点からでも構わないので外国人観光客の実態を調査してみましょう。

### 自分の調べたこと

- ・
- ・
- ・
- ・

### 他者が調べたこと

- ・
- ・
- ・
- ・

**STEP 2**  STEP 1で調査したことを踏まえ、私たちが個人レベルでできる対応や、日本政府が国全体で取り組むべきことを考えよう

### 個人ですべきこと

- ・
- ・
- ・

### 政府がすべきこと

- ・
- ・
- ・
- ・

グローバル化が進む現代において、お互いの文化を尊重し合い複数の文化が対等に共存することを目指す  
[<sup>23</sup> ]の考え方が必須になる。



# 文化と宗教

公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

## (i) 日本の風土と文化

### ■ 日本文化の原点

日本は農耕を中心とした社会を営んできており、自然の脅威を謙虚に受け入れ一体化する暮らしを育んできた。

**和辻哲郎** 「日本人の国民性は<sup>[2]</sup> **受容的** で<sup>[3]</sup> **忍従的** である」(『風土』)

気候風土が人間の精神構造を規定すると考え、世界の文化を3つに類型化した。

**モンスーン型**：暑熱・湿気・暴威 / 受容的・忍従的 / 東アジア・日本

**砂漠型**：乾燥 / 対抗的・戦闘的 / 西アジア

**牧場型**：湿潤と乾燥 / 合理的・規則的 / ヨーロッパ



古代の日本人

自然界の事物や現象には霊力が備わっていると信じ、神として崇めた

=<sup>[4]</sup> **アニミズム** ]

↳ <sup>[5]</sup> **八百万の神** ]



日本人精神の原点

神々の意にかなうためには汚い心を捨て、偽りのない心を保つことが重要！ =<sup>[6]</sup> **清明心** ]

・共同体を危険にさらす行い = ツミ

呪術的な力で取り除く =<sup>[7]</sup> **祓** ]

・汚れた心がもたらすもの = ケガレ

水で清める =<sup>[8]</sup> **禊** ]

以上のような、カミ信仰に基づく儀礼が、日本の民族宗教である**神道**を形作っていく

### ■ 日本人の生活と信仰

日本では無宗教の人が多いと言われるが、お盆や七五三など宗教的な背景をもつ行事で溢れている

・<sup>[9]</sup> **年中行事** ]：1年の決まった時期に行われる伝承行事 例)→**正月・節分・お盆・七夕・雛祭り**

・<sup>[10]</sup> **通過儀礼** ]：人生の節目に行われる儀式 例)→**宮参り・七五三・冠婚葬祭・還暦・米寿**

日常的な<sup>[11]</sup> **ケ** ]の行事 ⇔ 非日常的な<sup>[12]</sup> **ハレ** ]の行事 農耕生活を営む人に季節の変化に応じて生活のリズムを与える  
特別な日で晴れ着や料理で祝う

## (ii) 宗教と文化

### ■ 世界の宗教

**パスカル** 「無限の空間の永遠の沈黙は私を恐怖させる」(1623~62)

彼は、人間の理性だけではなぜ私がここに生きているのかを理解できず、恐怖を見出した。

その際に、超越的な存在である神や仏に希望を託し、祈りをささげたのである。

宗教は人々の心の安定や安らぎをもたらし、人々の結びつきを支えてきた。



信仰心の薄い日本でも、パワースポットが流行したり、スポーツの緊迫する場面では手を合わせて祈る観客が多い。自己を超えた絶対的な存在に救いを求める心理は、誰もが同様に持っているといえる。

★世界の三大宗教

	仏教	キリスト教	イスラム教
創始者	ゴータマ・シッダールタ(仏陀)	<sup>13</sup> イエス・キリスト	<sup>14</sup> ムハンマド
時期	紀元前5世紀ごろ	1世紀はじめ	7世紀はじめ
成立場所	インド東北部	ローマ帝国のパレスチナ	アラビア半島のメッカ
経典	多数の仏典	旧約聖書・新約聖書	<sup>15</sup> コーラン
信者数(2016)	5.2 億人	24.5 億人	17.5 億人

■ 仏教の教え

- ・ [ <sup>16</sup> 縁起 ] の法 …あらゆるものは相互に依存し合うことによって生じ、変化し続ける  
 ↳ 人々はこれに無知であるがゆえ、心に執着([ <sup>17</sup> 煩悩 ])が生じて苦しむことになる
- ・ 修行を実践し、煩悩を打ち消すことで、苦しみの連鎖から解放される(=[ <sup>18</sup> 解脱 ])
- ・ すべての生きものに慈悲の心をもって接する ※慈：他者に楽しみを与える 悲：他者の苦しみを取り除く

■ キリスト教の教え

- ・ 神の愛([ <sup>19</sup> アガペー ])は無差別・無償の愛であるとして  
 心から神を愛すること(神への愛)、すべての人に対して無差別で無償の愛を実践すること([ <sup>20</sup> 隣人愛 ])
- ・ イエスの死後、イエスを救世主(キリスト)とみなし、イエスの教えに従う宗教として誕生

■ イスラム教の教え

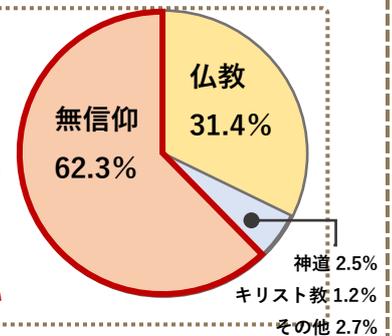
- ・ 全能神[ <sup>21</sup> アッラー ]からの啓示に基づき、預言者[ <sup>22</sup> ムハンマド ]が説いた宗教
- ・ 神の啓示をまとめた『コーラン』に示された、神への絶対的帰依や、六信五行の宗教的生活を義務付け  
 六信五行 → 六信(神/天使/聖典/預言者/来世/天命) 五行(信仰告白/礼拝/喜捨/断食/巡礼)
- ・ 宗教と社会を一体化させることを求める

Think🗨️ 日本人はなぜ信仰心が薄いのか？

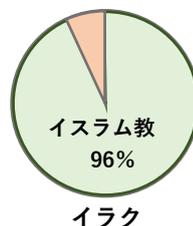
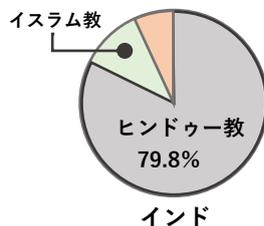
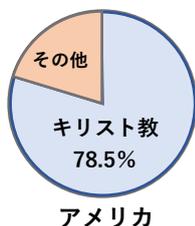
2018年の調査では、日本人が信仰している宗教は以下の通りとなっている。

神仏に拝む頻度や宗教に癒しを求める人が減少傾向にあるが、日本人に宗教が根付かないのはなぜか？

- ・ 安定した暮らしの中で、宗教に頼る必要がない
- ・ 神道(天皇)が中心の日本が、仏教を寛大に受け入れた歴史があるように、1つの宗教に対するこだわりが薄いのではないか
- ・ 宗教を狭く捉えているだけであり、初詣やお盆など自然に信仰心が宿っている
- ・ 戦前の国家神道政策や、カルト教団による事件などから、1つの対象に熱心に信仰することや新興宗教に抵抗感がある
- ・ 八百万の神を信仰してきた時代背景の中で、1つの神を熱心に信仰する土台がない



cf.他の国の事例



## TOPIC🗨️ イスラム教の生活習慣

イスラームでは、ムスリムが日常生活で行うべきことを規定しており、日本での日常生活と異なる部分もある。

- ①**食 事**：豚肉およびアルコールの摂取を禁止
- ②**礼 拝**：水を用いて体を清め、決まった時間に1日5回聖地に向かって祈る
- ③**断 食**：イスラーム暦の9月には夜明けから日の入りまで食事をとらない
- ④**露 出**：ムスリムの女性は家族以外への肌の露出を避けるため、ヒジャブという布によって髪や首を隠す

## Work📌 外国人観光客が日本で困った事例を調べ、私たちが気を付けるべきことを考えよう

**STEP1👉** 文化や宗教上の配慮、言語や観光地の対応など、どんな視点からでも構わないので外国人観光客の実態を調査してみましょう。

### 自分の調べたこと

- ・公共交通機関の情報、利用方法、乗車券の手配が難しい
- ・無料のWi-Fi等、LAN環境が不足している★
- ・外貨両替所の不足やクレジットカード利用ができない店が多い★
- ・ピクトグラムが分かりにくい

### 他者が調べたこと

- ・英語でのコミュニケーションが取れない★
- ・英語表記が多いが、観光客は英語圏の人ばかりではない
- ・観光地のパンフレットは詳細の地図であり、広域な地図が欲しい
- ・飲食店や駅、神社仏閣などにおいて英語の情報が不足している

**STEP2👉** STEP1で調査したことを踏まえ、私たちが個人レベルでできる対応や、日本政府が国全体で取り組むべきことを考えよう

### 個人ですべきこと

- ・駅員や観光地に従事する場合は、英語でのコミュニケーションを取れるよう準備する
- ・飲食店や観光地に従事する人は、多言語の案内(メニュー)作成や、宗教上の配慮などを心がける
- ・翻訳サービスや分かりやすい地図アプリなどを活用し、誰でも対応できる準備をしておく

### 政府がすべきこと

- ・公共交通機関でフリーパスなどを導入し、移動しやすい環境を作る
- ・無料の無線LANスポットやPCが使える場所などを増やすことに加え、観光庁が情報提供を行う
- ・駅や観光地の主要施設に、ピクトグラムによる案内を積極的に導入するよう支援する
- ・国全体である程度ベースを作成し、図を活用した地図や多言語に対応した案内をどこでも作れるように

グローバル化が進む現代において、お互いの文化を尊重し合い複数の文化が対等に共存することを目指す

[<sup>23</sup> **マルチカルチュラルイズム** ]の考え方が必須になる。